

# 第6次宇土市総合計画策定のための アンケート調査結果報告書

【概要版】

1. アンケート調査の概要.....	2
2. 調査結果概要（市民）.....	3
3. 調査結果概要（企業）.....	7
4. 調査結果概要（市外住民）.....	10
5. 共通設問.....	12
【参考】年齢別の特徴.....	16
【参考】居住地区別の特徴.....	17

平成30年3月 宇土市企画課

# 1. アンケート調査の概要

## ■ 目的

- 第6次宇土市総合計画を策定するにあたり、市民・企業・市外住民の現状やニーズ等を把握し計画策定に役立てるためアンケート調査を実施しました。

## ■ 調査概要

- それぞれの調査の概要については以下のとおりです。

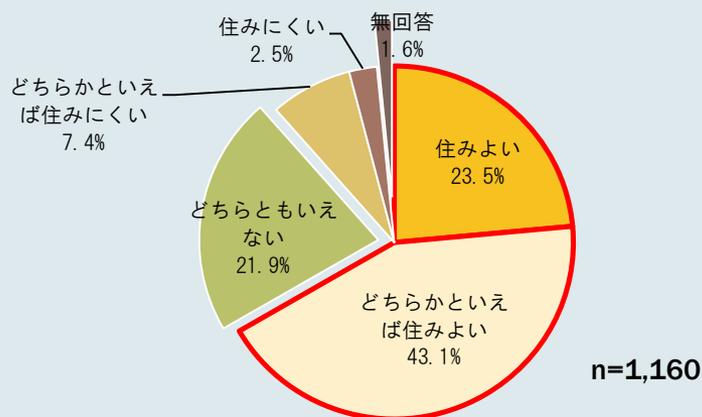
種類	対象	送付数	回収数 (回収率)	調査方法	調査期間
市民 アンケート	20歳以上の市民	2,400票	1,160票 (48.3%)	郵送	H30.1.16 ~2.15
企業 アンケート	宇土市立地企業	300票	138票 (45.7%)	郵送	H30.1.10 ~2.9
市外住民 アンケート	東京都・大阪府・福岡県・ 長崎県・鹿児島県・熊本県 居住の20~39歳男女	600票		インターネット	H30.2.15 ~2.16

## 2. 調査結果概要（市民）

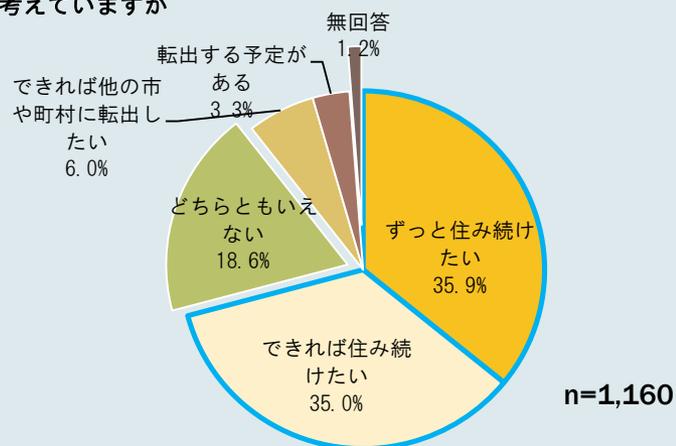
### ■ 宇土市の住み心地について

- 総合的な宇土市の住み心地の問いには、回答者の約7割が「住みよい」もしくは「どちらかといえば住みよい」と回答しています。（問10）
- 引き続き宇土市に住みたいかの問いには、回答者の約7割が「ずっと住み続けたい」もしくは「できれば住み続けたい」と回答しています。（問11）
- 住まいの周辺状況の問いには、空気がきれい、緑がたくさんある、生き物がたくさんいると回答する人が多い一方、川・海がきれい、不法投棄・ポイ捨てがない、ペットの飼い主のマナーがよいと回答する人は少ない状況です。（問12）

問10 総合的にみて、今の宇土市の住み心地はいかがですか



問11 あなたは、これからも引き続き宇土市に住みたいと考えていますか

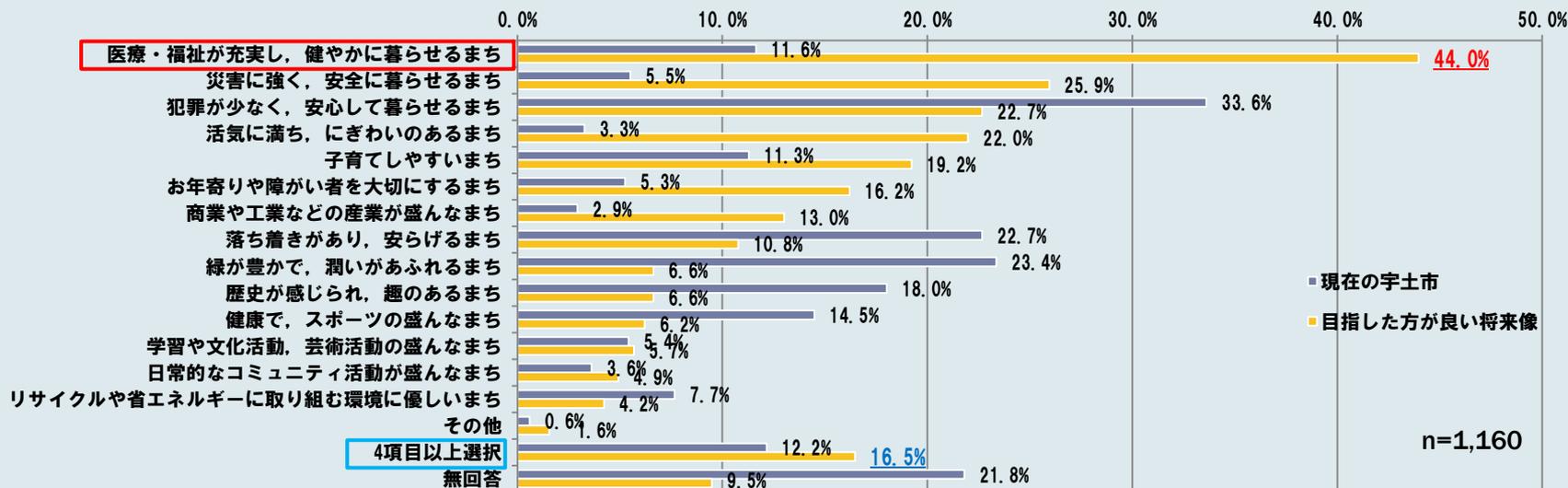


## 2. 調査結果概要（市民）

### ■ 宇土市の将来像について

- 宇土市が目指したほうがよい将来像の問いには、**医療・福祉が充実し、健やかに暮らせるまち**という回答が最も多く、全体の44.0%が回答しています。（問13）
- **3項目に絞れず4項目以上選択**した人が16.5%おり、どれも重要で目指すべきであると考える人が多くいることがうかがえます。（問13）
- 宇土市がアピールできる地域資源の問いには、回答者全体の約半数が**海産物、自然や景観**と回答しています。（問14）

問13 あなたは、宇土市をどのようなまちだと感じていますか。  
また、将来どのようなまちを目指したらよいと思いますか。【それぞれ3つまで】

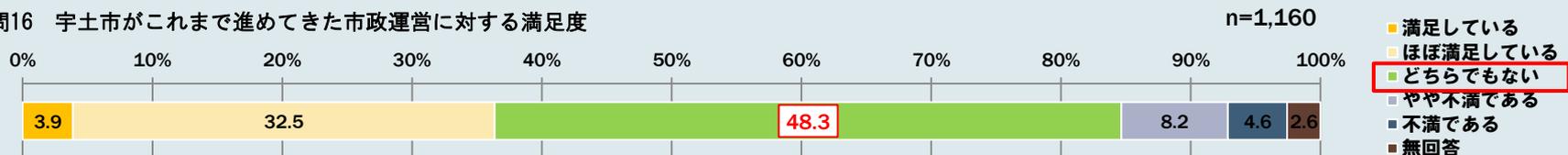


## 2. 調査結果概要（市民）

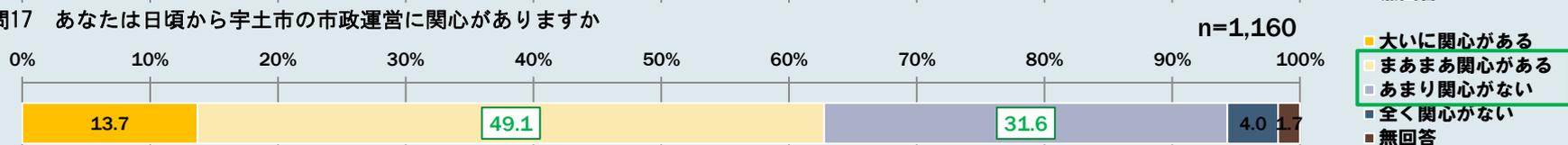
### ■ 宇土市政への関心について

- 市政運営の満足度では、約半数がどちらでもないと回答しています。（問16）
- 市政運営への関心の問いには、回答者の約半数がまあまあ関心があると答えた一方、あまり関心がないという回答が3割を超えています。なお、8年前の調査と比較すると、関心が薄れていることがうかがえます。（問17）
- 市民意見の反映の問いには、約3割がわからないと回答しています。（問19）
- 市政参加の方法については、アンケート調査への回答という回答が約7割と突出して多くなっています。（問20）

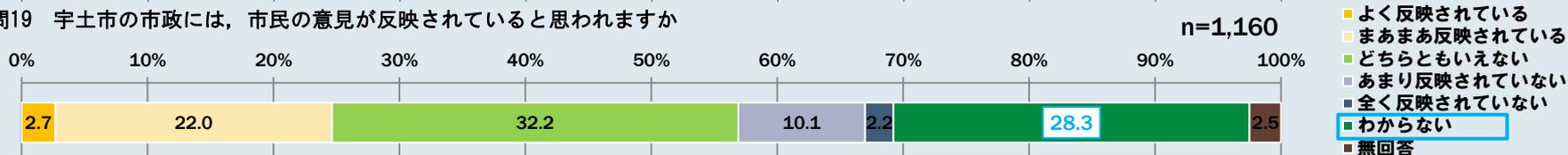
問16 宇土市がこれまで進めてきた市政運営に対する満足度



問17 あなたは日頃から宇土市の市政運営に関心がありますか



問19 宇土市の市政には、市民の意見が反映されていると思われますか

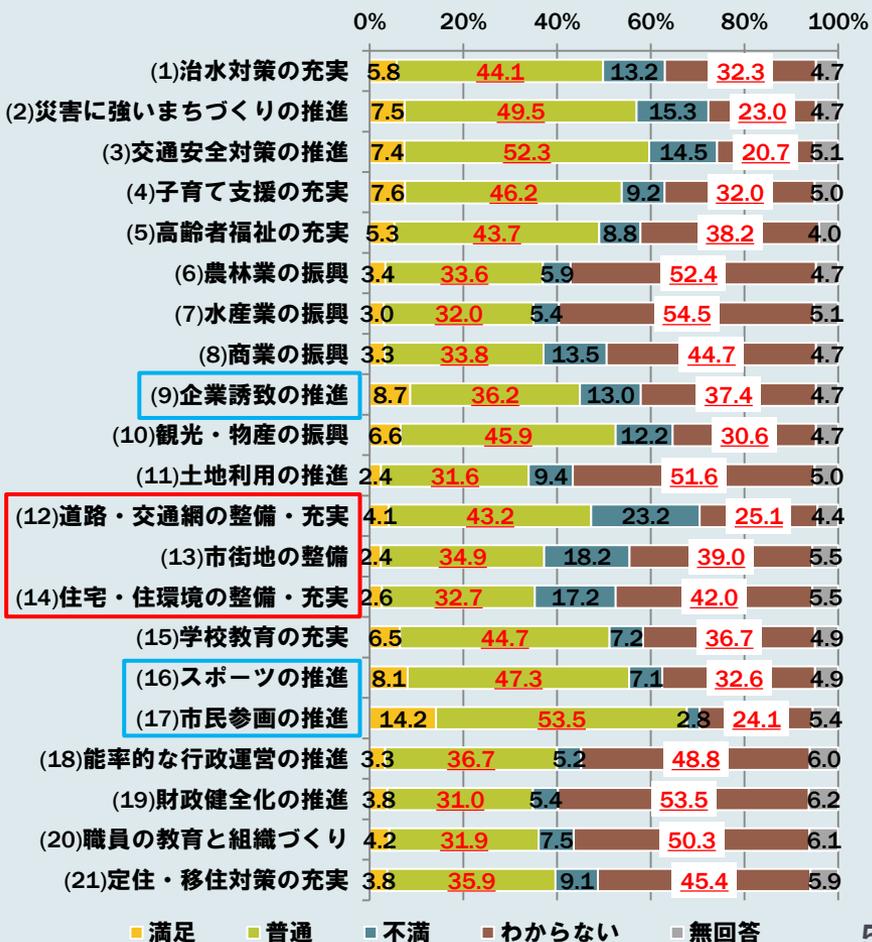


## 2. 調査結果概要（市民）

### ■ 宇土市の施策への評価について

- 第5次宇土市総合計画・後期基本計画重点施策の満足度では、10項目で普通という回答が最も多く、11項目でわからないという回答が最も多くなっています。（問22）
- (9)企業誘致の推進、(16)スポーツの推進、(17)市民参画の推進などは、満足という回答が、比較的多く寄せられています。（問22）
- (12)道路・交通網の整備・充実、(13)市街地の整備、(14)住宅・住環境の整備・充実などは不満という回答の多さが目立っています。（問22）

問22 第5次宇土市総合計画・後期基本計画の重点施策満足度 n=1,160

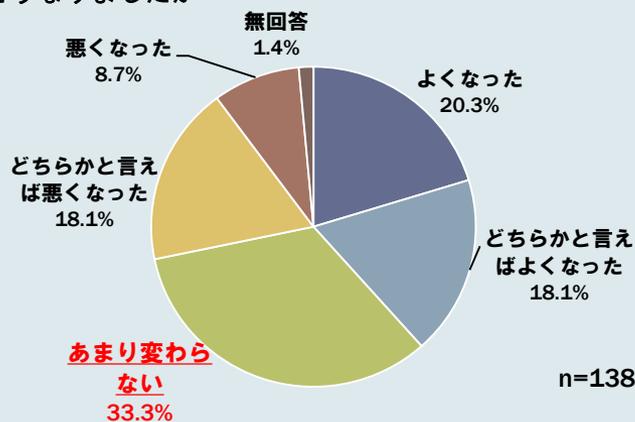


# 3. 調査結果概要（企業）

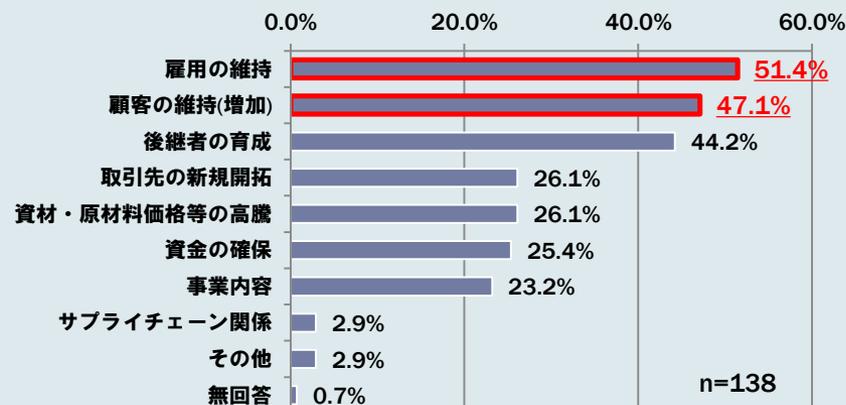
## ■ 現状・見通しについて

- 経営状況については、**あまり変わらない**と回答する企業が1/3と最も多く、「悪くなった」より「よくなった」という回答がやや多くなっています。（問7）
- 現在の従業員の過不足状況については、約半分の企業が適正、残りの**半分の企業が不足している**と回答しています。（問8）
- 行政に求める支援策では、**雇用助成金に関する説明会**という回答が最も多くなっています。（問10）
- 今後事業を行っていく上での課題は、**雇用の維持**、**顧客の維持（増加）**という回答が多くなっています。（問11）

問7 この1年の経営状況を過去3年と比較するとどうなりましたか



問11 今後事業を行っていく上での課題について、あてはまるのはどれですか【3つまで】

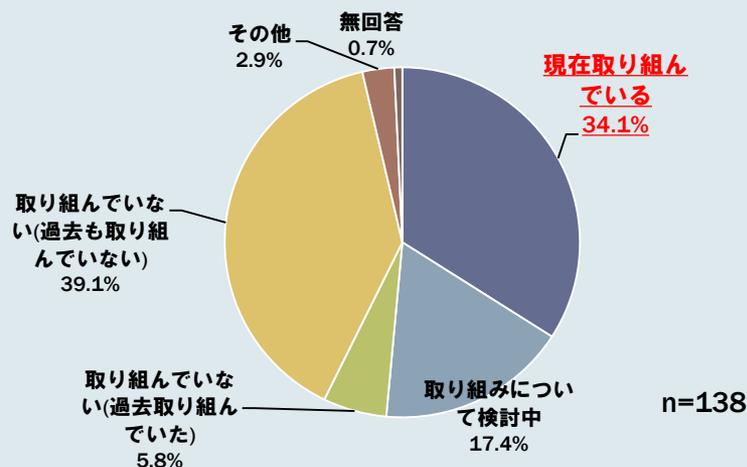


# 3. 調査結果概要（企業）

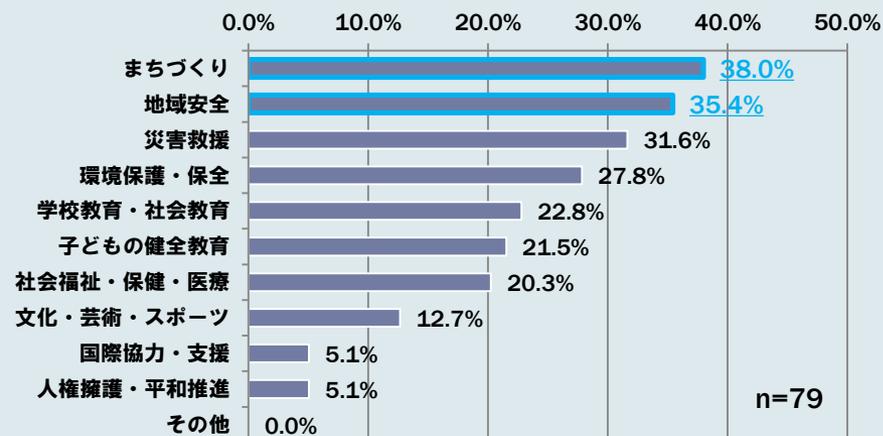
## ■ 社会貢献活動について

- 社会貢献活動については、取り組んでいないと回答した企業が最も多く、全体の39.1%を占めていますが、**34.1%の企業が現在取り組んでいる**と回答しています。（問13）
- 行っている社会貢献活動の分野については、**まちづくり**や**地域安全**といった回答が多くなっています。（問13-2）
- 行っている社会貢献活動の内容では、**金銭の寄附**という回答が34.2%と最も多くなっています。（問13-3）

問13 企業として社会貢献活動を行っていますか



問13-2 行っている社会貢献活動の分野【該当すべて】

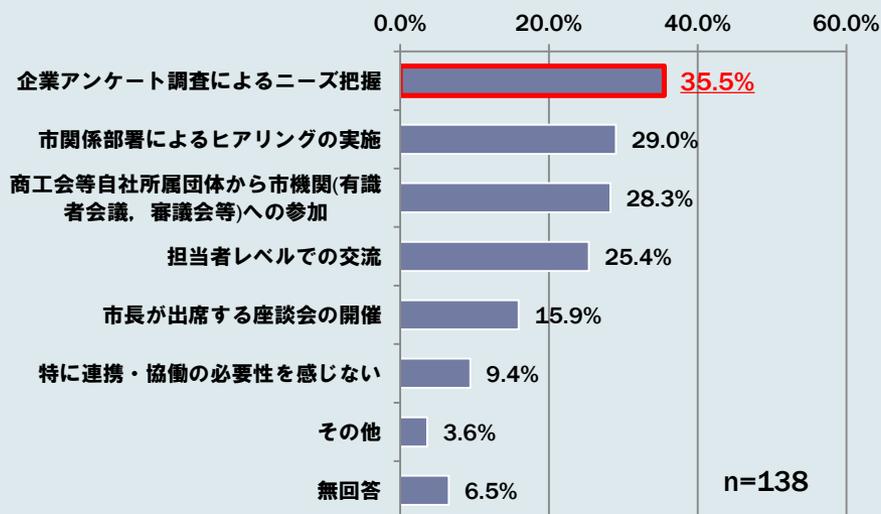


# 3. 調査結果概要（企業）

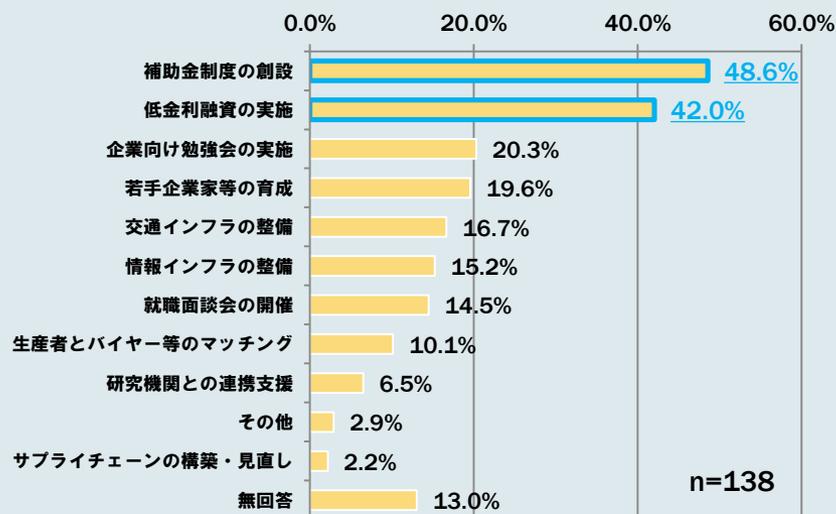
## ■ 企業と市の連携・協働について

- 企業と市の連携の手段として有効であると考えるものについては、**企業アンケート調査によるニーズ把握**という回答が最も多くなっています。（問16）
- 行政（国・県・市）に検討してほしい企業支援策については、**補助金制度の創設**や**低金利融資の実施**といった資金面の支援を求める回答が多くなっています。
- （問17）

問16 企業と市の連携・協働の手段として有効であると考えるもの【該当すべて】



問17 行政（国・県・市）に検討してほしい企業支援策【該当すべて】



# 4. 調査結果概要（市外住民）

## ■ 宇土市への訪問について

- 宇土市の認知度は、東京・大阪居住者で2割前後、九州エリアでは5～6割となっています。（Q1）
- 熊本県を除くと 観光での訪問が多いのは福岡県、鹿児島県など九州エリアで、東京・大阪でそれぞれ5%・3%程度となっています。（Q2）
- 宇土市訪問の際に 一緒に訪問した地域は、熊本市が最も多く半数強を占め、次いで宇城市，天草地域，阿蘇地域となっています。（Q3）
- 訪れてみたい観光地や催しは概して女性の方が多く挙げていて、御輿来海岸、あじさいの湯、立岡自然公園などが多く回答されています。（Q4）

Q4 宇土市の観光地や催しであなたが訪れてみたいものはありますか【該当すべて】



# 4. 調査結果概要（市外住民）

## ■ 移住・二拠点居住について

- 移住・二拠点居住を予定している（した）人は15%，東京・福岡に多く鹿児島に少なくなっています。また，男性と既婚者が多くなっています。（Q6）
- 移住・二拠点居住の情報入手経路は，自治体運営の移住情報ウェブサイトが最も多く，次いで現地訪問が多く解答されています。（Q7）
- 移住・二拠点居住をしたい理由としては，ゆとりある生活，都会に住みたい，田舎に住みたい，子育てのための順に多く回答されています。（Q8）
- 移住・二拠点居住をする場合の重視点は，交通の利便性が半数以上に挙げられており，次いで買い物が便利，生活コストが安いが多く回答されています。（Q9）

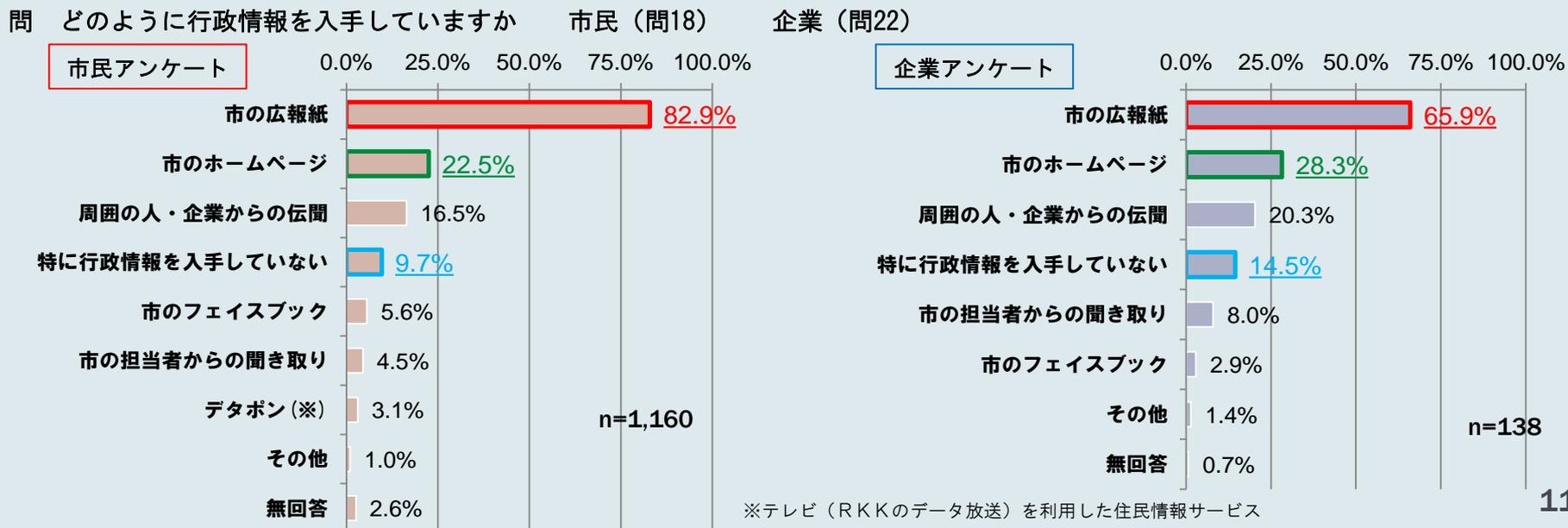
Q9 移住・二拠点居住をする場合，どのようなことを重視しますか【3つまで】



# 5. 共通設問

## 行政情報の入手方法（市民・企業）

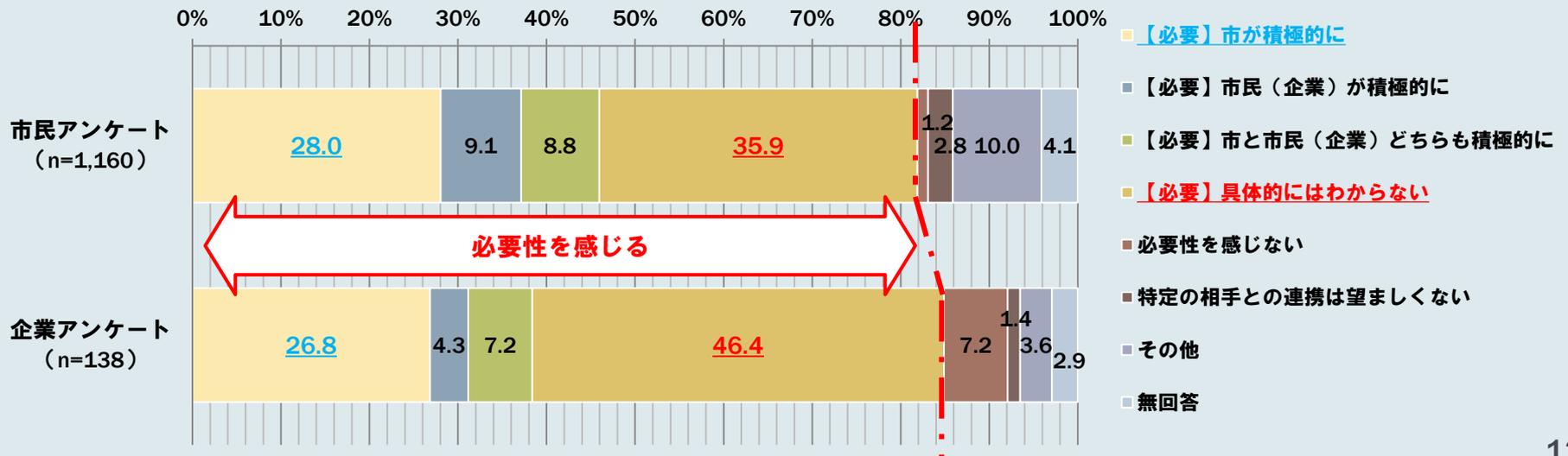
- 市民、企業のどちらも、**市の広報紙**から行政情報を入手していると回答した人（企業）が最も多くなっています。
- 市民・企業のいずれも、回答者全体の約1割が**特に行政情報を入手していない**と回答しています。
- なお、回答が2番目に多かった**市のホームページ**については、年齢が若いほど回答割合が高くなる傾向が見られます。



# 5. 共通設問 市との連携・協働（市民・企業）

- 市民，企業のどちらも，回答者全体の8割以上が市との連携・協働の必要性があると感じています。
- 必要性を感じる人は多いものの，具体的に何をしたいか分からないという人(企業)が，回答者全体の約4割を占めています。
- 連携・協働にあたっては，市が積極的に進めるべきとの回答が，市民，企業のいずれも回答者全体の1/4以上を占めています。

問 市民（企業）と市との連携・協働は必要だとお考えですか 市民（問21） 企業（問15）

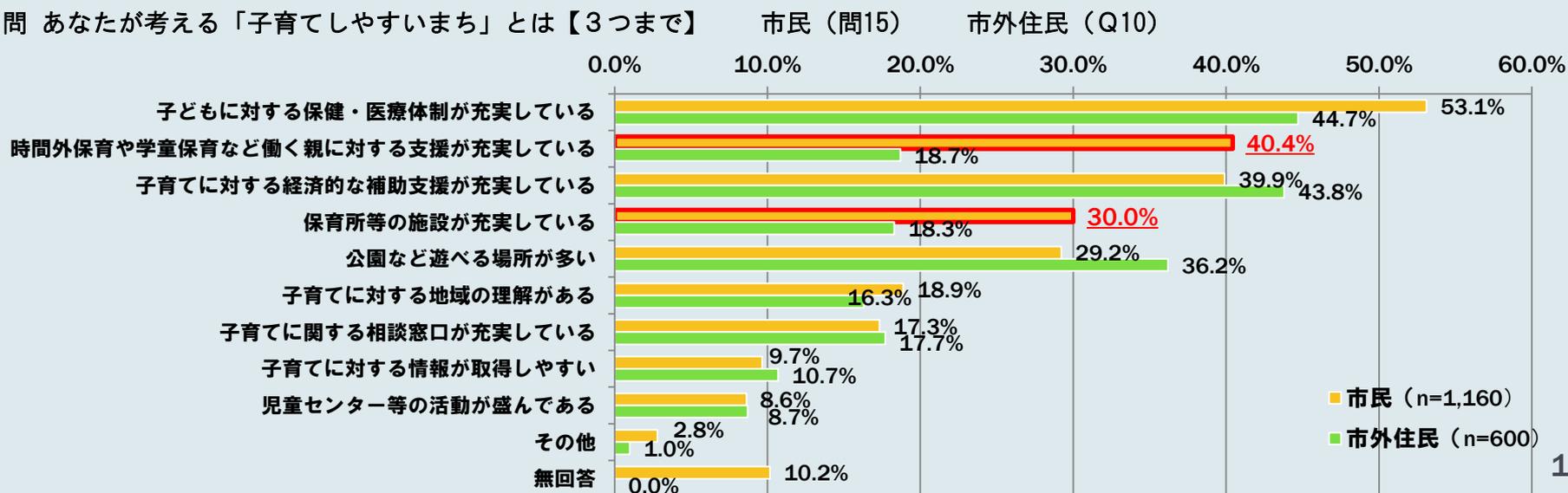


# 5. 共通設問

## 子育てしやすいまち（市民・市外住民）

- どちらも、**子どもに対する保健・医療体制の充実**という回答が最も多く、**経済的な補助支援の充実**という回答も多くなっています。
- **時間外保育・学童保育及び保育所等の充実**と回答する人について、市民が市外の回答割合を大きく上回っているのが特徴的です。なお、働く親に対する支援については、女性（市民）の44.4%が回答しています。
- 実施方法が違うため単純比較はできませんが、いずれも保健・医療体制充実や経済的な補助支援の充実などに回答が集まりました。

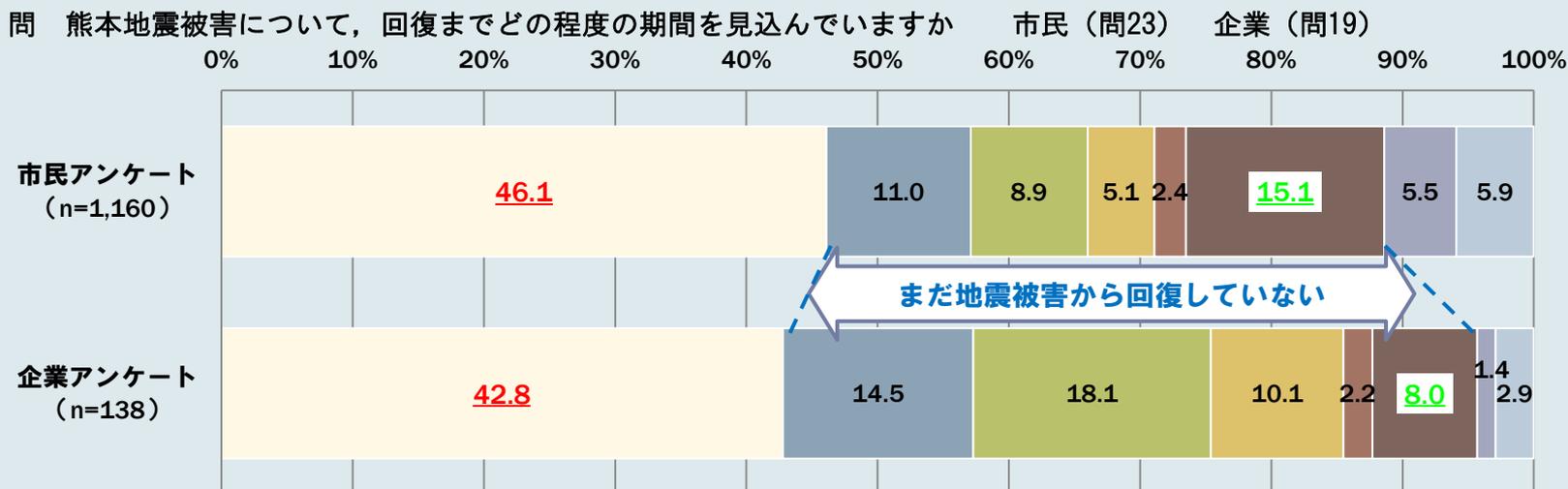
問 あなたが考える「子育てしやすいまち」とは【3つまで】



# 5. 共通設問

## 熊本地震からの復興（市民・企業）

- 市民，企業のどちらも，**既に回復済**と回答した人（企業）が最も多く，回答者全体の4割以上を占めています。
- 一方，**まだ地震被害から回復していない**と回答した人（回復までの期間を回答，若しくはわからないと回答）を合計すると，市民で約4割，企業で約5割となっています。
- 地震被害からの回復期間が**わからない**という回答は，特に市民で多く（15.1%），回答からも，熊本地震からの復旧・復興にはまだ時間がかかることがわかります。



# 5. 共通設問

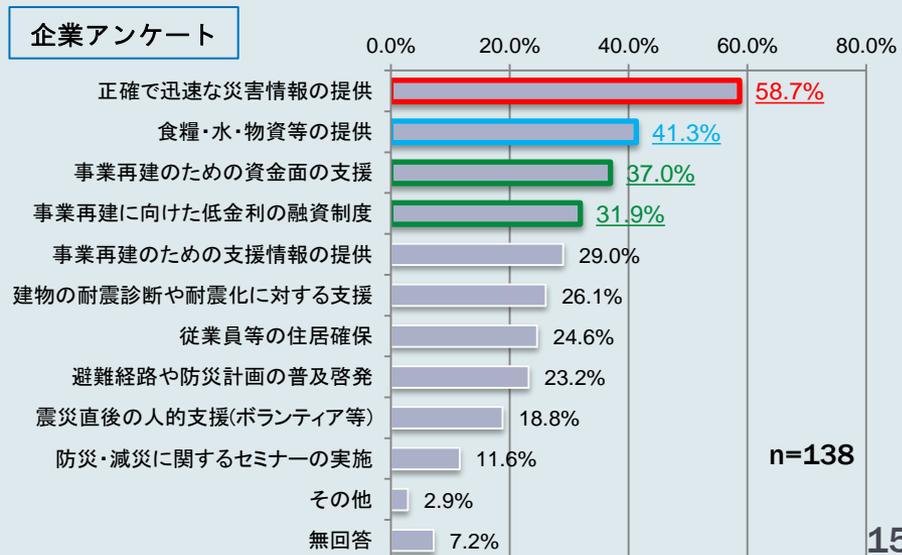
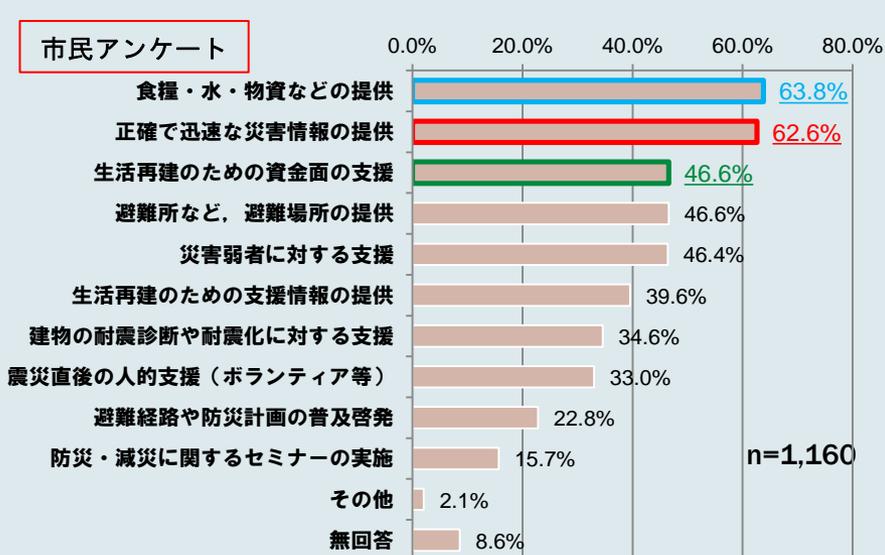
## 熊本地震からの復興（市民・企業）

- 市民，企業のどちらも，**正確で迅速な災害情報の提供**という回答が多く，いずれも回答者全体の約6割が回答しています。
- **食糧・水・物資などの提供**という回答も多く，市民で約6割，企業で約4割が回答しています。
- また，市民，企業のどちらも，**生活（事業）再建のための資金面の支援**という回答も，比較的多く見られます。

問 行政（国・県・市）からの支援が必要だと感じたこと【該当すべて】

市民（問25）

企業（問20）



# 【参考】年齢別の特徴

## ■目指したほうがよい将来像（年齢別に20%以上の回答があったもの）

年齢	目指したほうがよい将来像					回答割合
20代	医療・福祉が充実	子育てしやすい	災害に強い	犯罪が少ない		回答割合 50%~
30代	医療・福祉が充実	子育てしやすい	犯罪が少ない	災害に強い		回答割合 40~50%
40代	医療・福祉が充実	子育てしやすい	災害に強い	にぎわいがある	犯罪が少ない	回答割合 30~40%
50代	医療・福祉が充実	災害に強い	犯罪が少ない	にぎわいがある		回答割合 20~30%
60代	医療・福祉が充実	災害に強い	犯罪が少ない	にぎわいがある		
70代以上	医療・福祉が充実	にぎわいがある	災害に強い	犯罪が少ない		

← 年齢別に、左ほど回答割合が高い

# 【参考】居住地区別の特徴

## ■目指したほうがよい将来像（居住地区別に20%以上の回答があったもの）

居住地区	目指したほうがよい将来像					
宇土地区	医療・福祉が充実	災害に強い	にぎわいがある	犯罪が少ない	子育てしやすい	回答割合 50%～
花園地区	医療・福祉が充実	災害に強い	にぎわいがある	子育てしやすい	犯罪が少ない	
轟地区	医療・福祉が充実	災害に強い	にぎわいがある			回答割合 40～50%
走潟地区	医療・福祉が充実	犯罪が少ない	災害に強い	にぎわいがある		回答割合 30～40%
緑川地区	医療・福祉が充実	災害に強い	犯罪が少ない			回答割合 20～30%
網津地区	医療・福祉が充実	災害に強い	犯罪が少ない			
網田地区	医療・福祉が充実	災害に強い	犯罪が少ない			

← 居住地区別に、左ほど回答割合が高い

# 【参考】居住地区別の特徴

## ■市民活動・コミュニティ活動への参加状況

（居住地区別に「積極的に参加し活動している」の回答割合が10%以上あったもの）

居住地区	町内会活動	福祉ボランティア活動	子ども会・老人会・消防団・体協	防犯や子どもの見守り活動	文化・芸術などのサークル活動	祭りやイベント	清掃活動や環境・リサイクルなどの活動
宇土地区	12.2						15.6
花園地区	19.8		11.5			13.5	19.4
轟地区	29.8		19.0			20.2	31.0
走瀧地区	29.7		10.9			17.2	25.0
緑川地区	20.3	15.3	20.3	13.6	11.9	23.7	32.2
網津地区	25.3			11.1	10.1	22.2	23.2
網田地区	21.7		18.1			18.1	21.7

「積極的に参加している」の回答割合



※数値は回答割合（%）

# 【参考】居住地区別の特徴

## ■住まいの周辺状況（居住地区別に**そう思う**または**そう思わない**の回答が30%以上あったもの）

居住地区	空気がきれい	川がきれい	湧水が豊富できれい	騒音がない	イヤな臭いがない	みどりがたくさん	生き物がたくさん	自然の景色が美しい	不法投棄がない
宇土地区	思う				思う	思う			
花園地区	思う					思う	思う		思わない
轟地区	思う		思う	思う	思う	思う	思う	思う	
走潟地区	思う	思わない	思わない	思う					
緑川地区	思う	思わない		思う	思う	思う	思う	思う	思わない
網津地区	思う			思う	思う	思う	思う	思う	
網田地区	思う			思う	思う	思う	思う	思う	

「そう思う」と回答

回答割合  
50%～

回答割合  
40～50%

回答割合  
30～40%

「そう思わない」と回答  
(回答割合40%以上の項目なし)

回答割合  
30～40%